

三重・度会町に地域新電力会社

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツらは、三重県度会町に地域新電力会社「三重広域エネルギー」を9月8日に設立した。自治体や電力会社と協力。再生可能エネルギーの地産地消を実現し、地域の脱炭素化や持続的成長につなげる。三重県の度会町と多気町、シン・エナジー（神戸市中央区、乾正博社長）、朝日ガスエナジー（三重県四日市市、森明社長）と共同で設立した。

度会、多気両町は周辺にある明和、大台、大紀、紀北の4町と共に2020年に「三重広域連携スーパーシティ構想推進協議会」を設立。

24年には環境省の脱炭素先行地域に選定され、再生可能エネルギーや電気自動車の導入を進めている。

三重広域エネルギーは26年4月に度会町と多気町の公共施設に電力供給を開始。将来的には周辺4町も含めた6町に電力の供給範囲を広げていく。地域経済の活性化や雇用創出のほか、地域エネルギー運営を担う主体として災害対応の枠組みに参画して地域防災力向上につなげるのが期待されている。